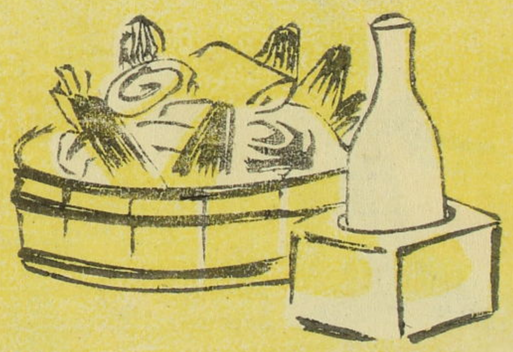
へ13
3774
3

へ13
3774
4

へ13
3774
3

增補 雙級巴 二編 上之巻



山田屋藏板

魯文 校

若房 画

大柳上々吉の位附黒子仕立
不見物の巨花ろ頭巾大入の長刀

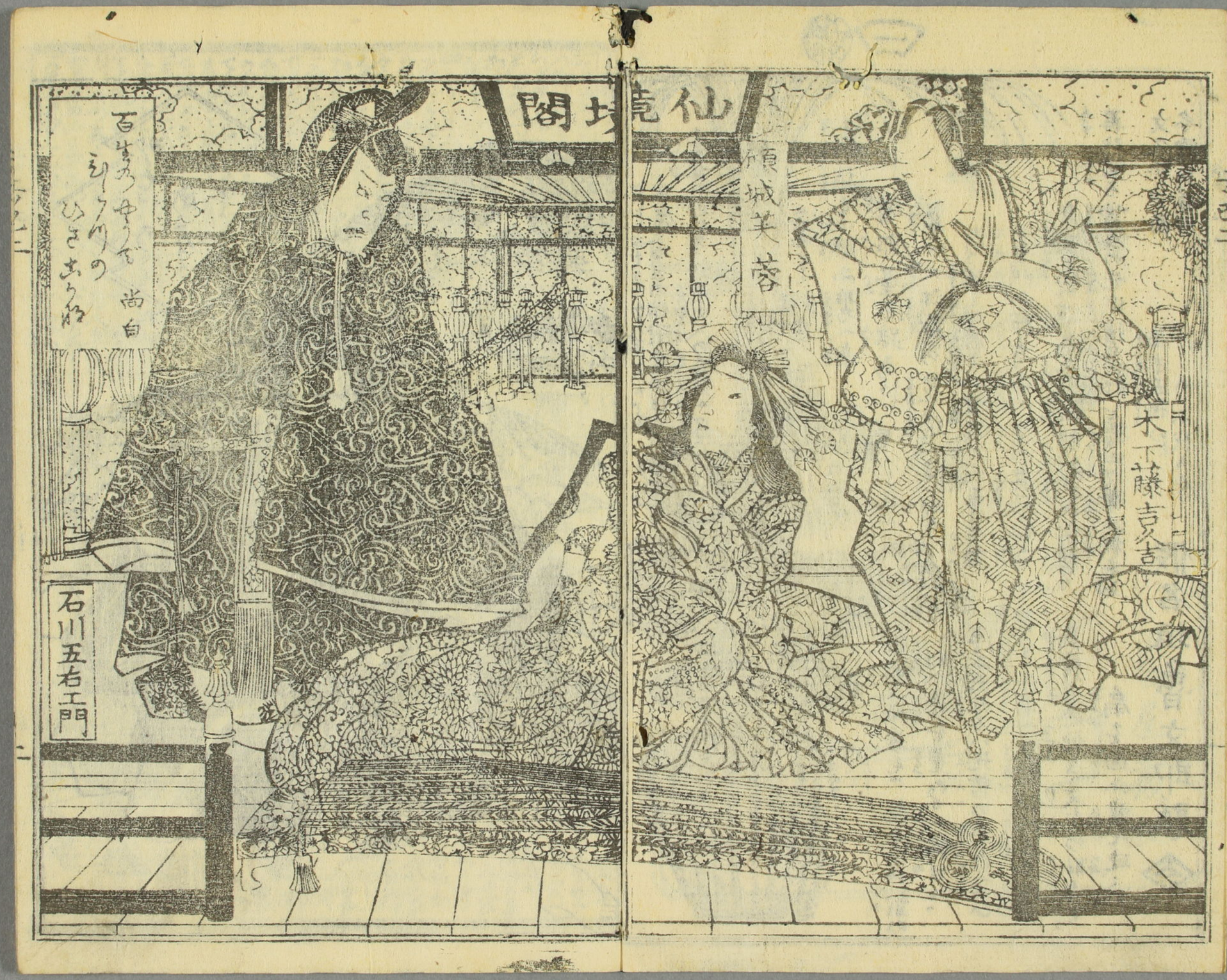
千両箱を小脇ゑ携へ南
給金の。
謄部堂を踏みし。
名ゑ大江都の花道へさしかり
たる梁上の君子ハ誰哉石川ゑ彼
五右門ゑ紛ふる市川濵の真砂ゑ尽せ
る脚色ハ深き金ゑ淵雙級巴の二の替り
再び當ろ當吾の先例後日文談を櫻田ゑ筆ゑ耕す

文久元辛酉
冬霜月発市

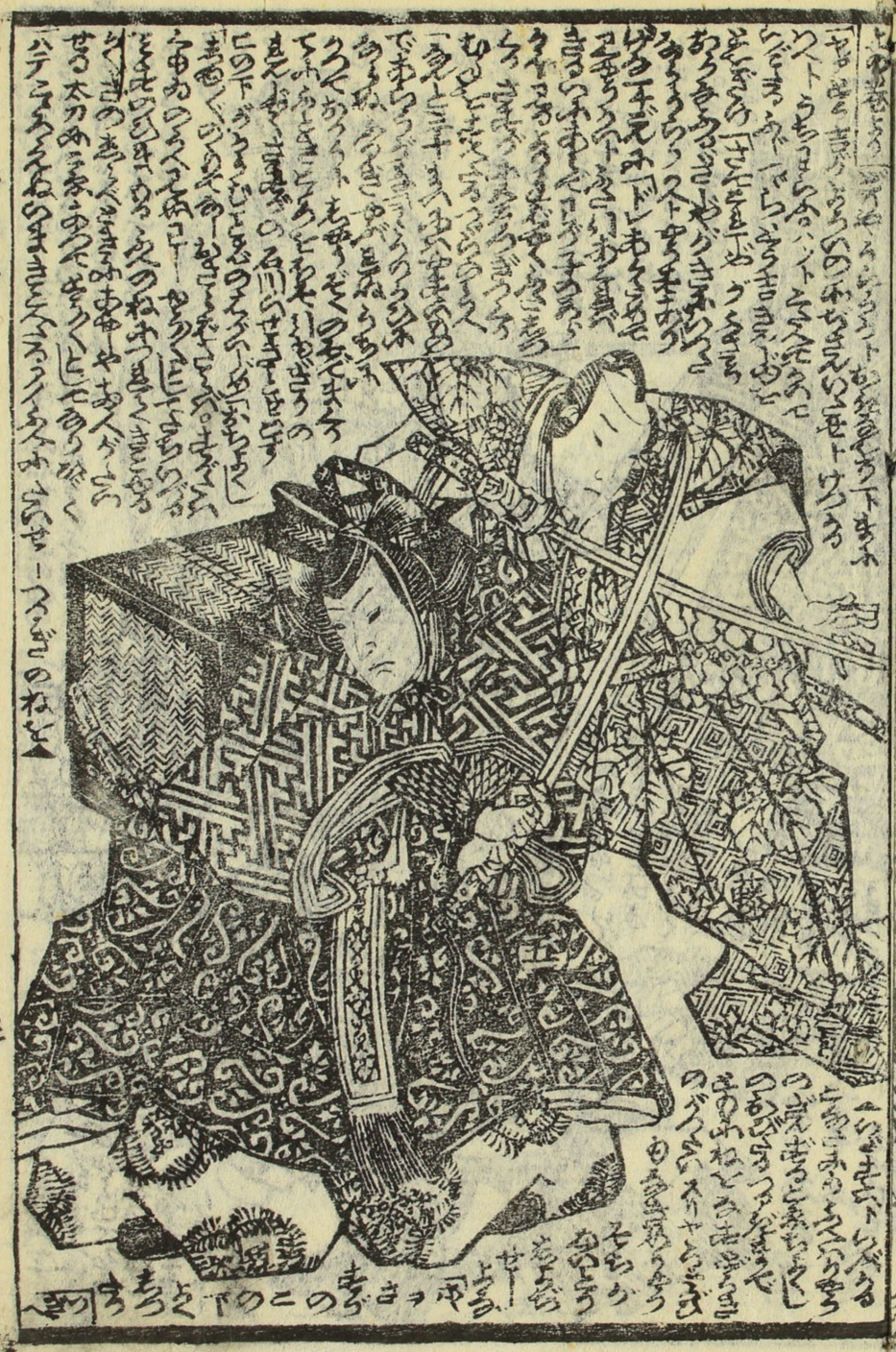
粒々辛苦ゑ稿本ゑ執筆の
畑へ巻を重ねる二編目の
序ゑ出ハる先哲の声色つゝひ
習ひと作者の見習ひ梓すゑ後と
貝負立ゑ拙き文ゑの取うく。
扇を面ゑ當て迹る

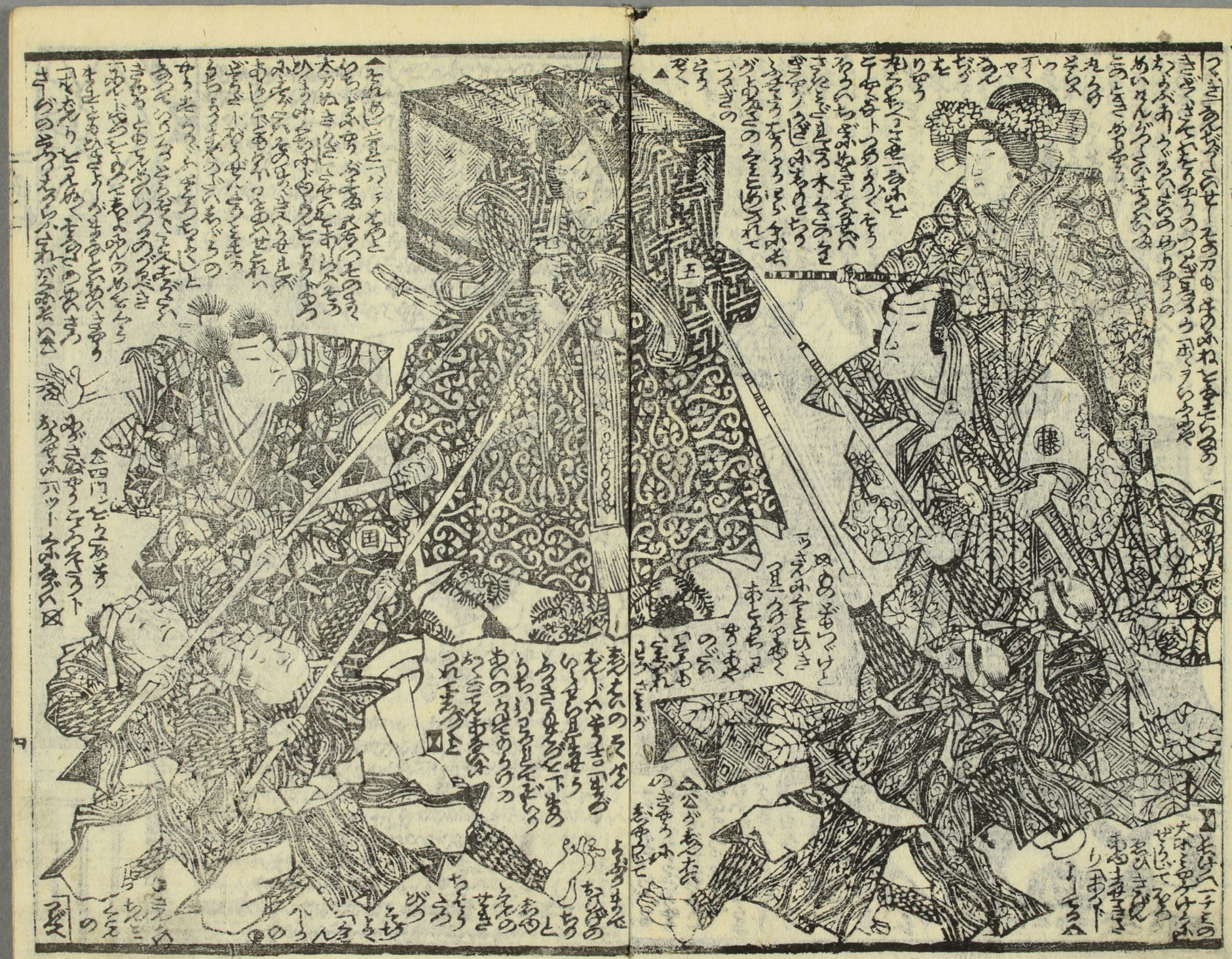
並木五柳の
めゑ代りゑ

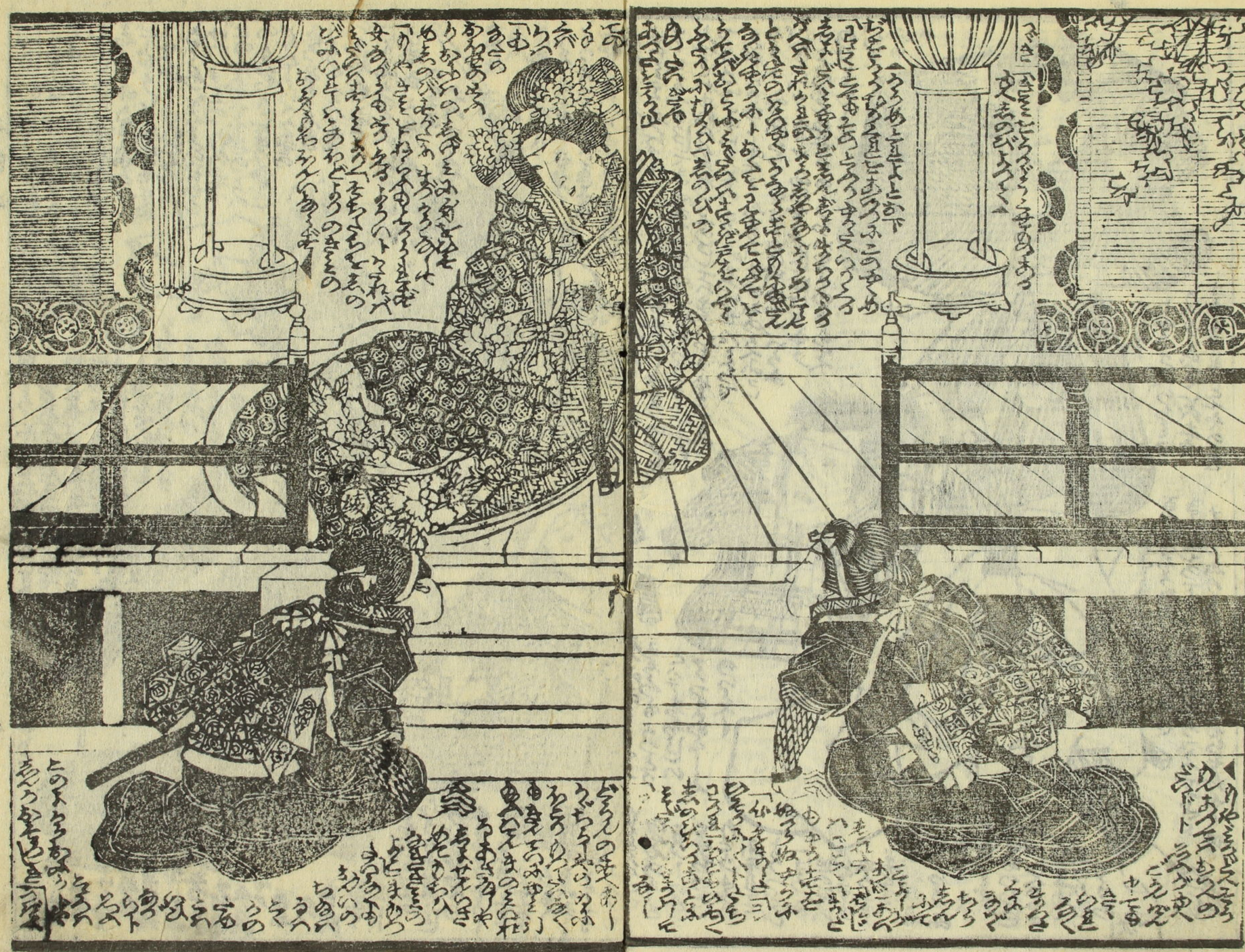
假名垣魯文即題


仙境坊閣
傾城美容
木下藤吉
百生ゆかしき
尚白
石川五右エ門

かもんの
一下藤なるし
宮うれ
風国



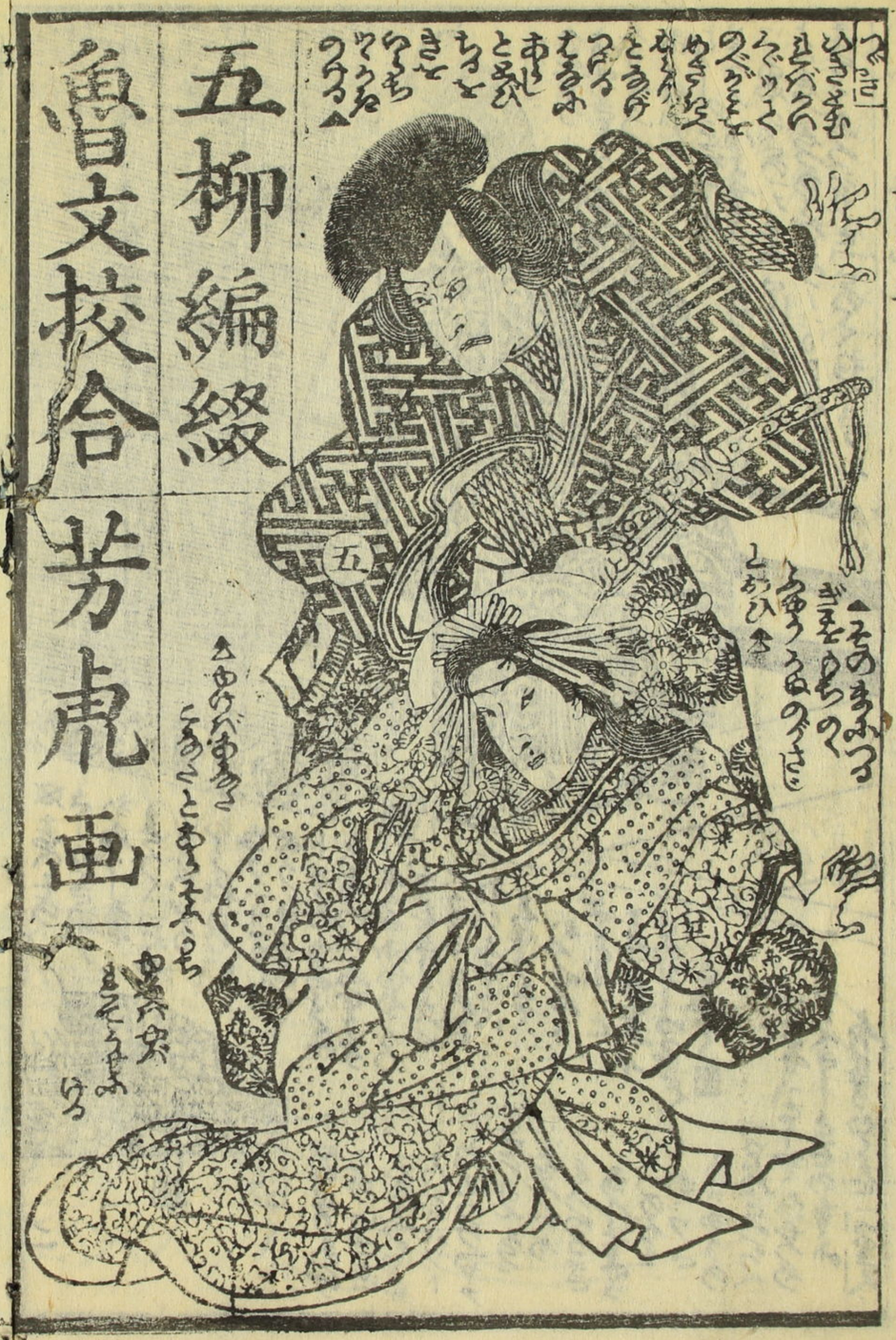




仙境閑の場

五柳編綴

魯文校合　芳虎画



口中御薬　固眼齒散　大包代百錢　小包代二十錢

清涼精製　白丸　三錢

勝小使大奇薬　三代　二百錢

無病長壽　養生手引草　全　京山翁著　一冊　廣重画

美玉百人一首　中本形　全一冊

紅梅百人一首　生紙本　全一冊

鶴笹場寿　紅摺大本

女中用文玉手箱　中本形　京山彩著

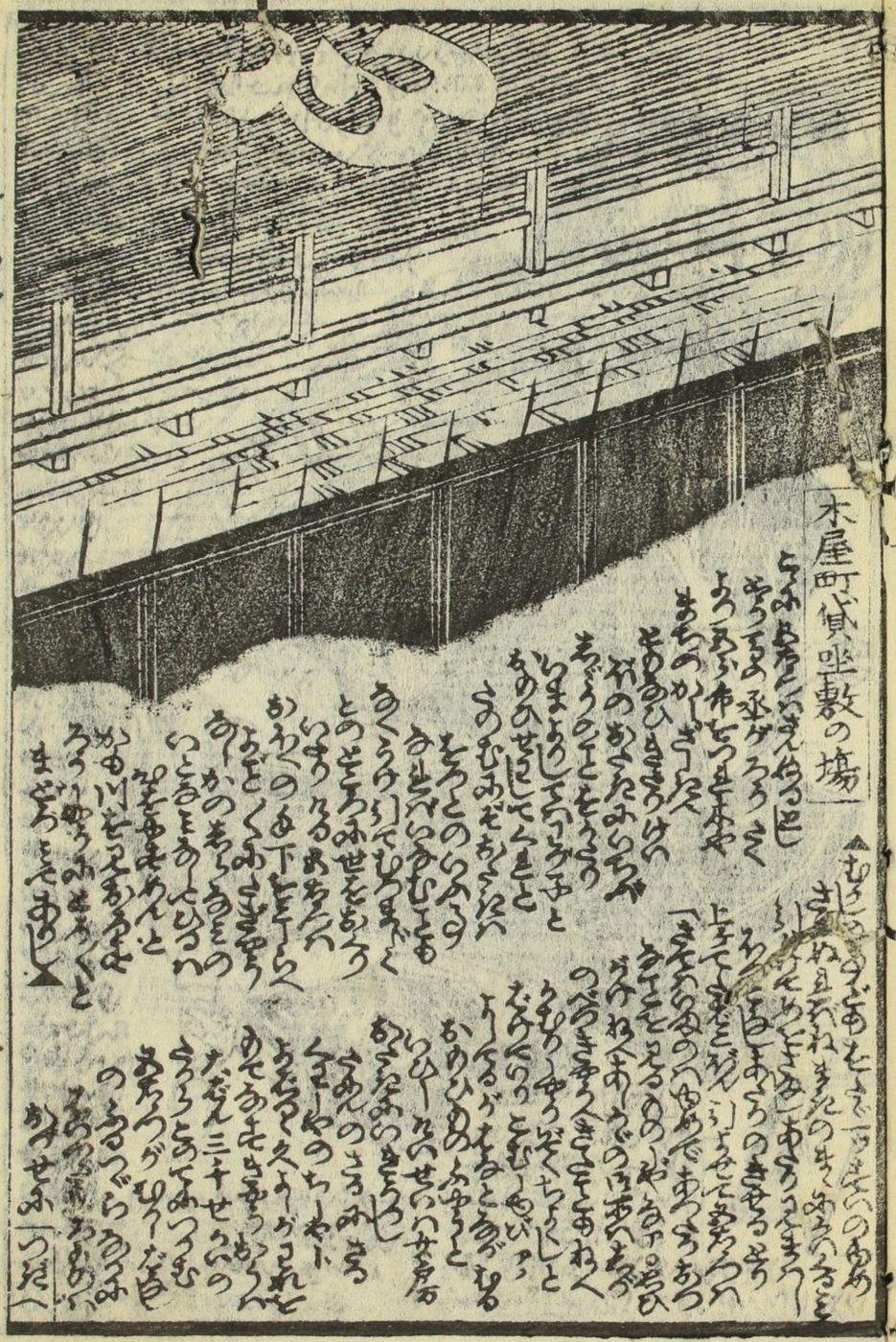
敵討白石噺　全二冊　芳虎画録

伊賀越敵討物語　全二冊　芳虎画録

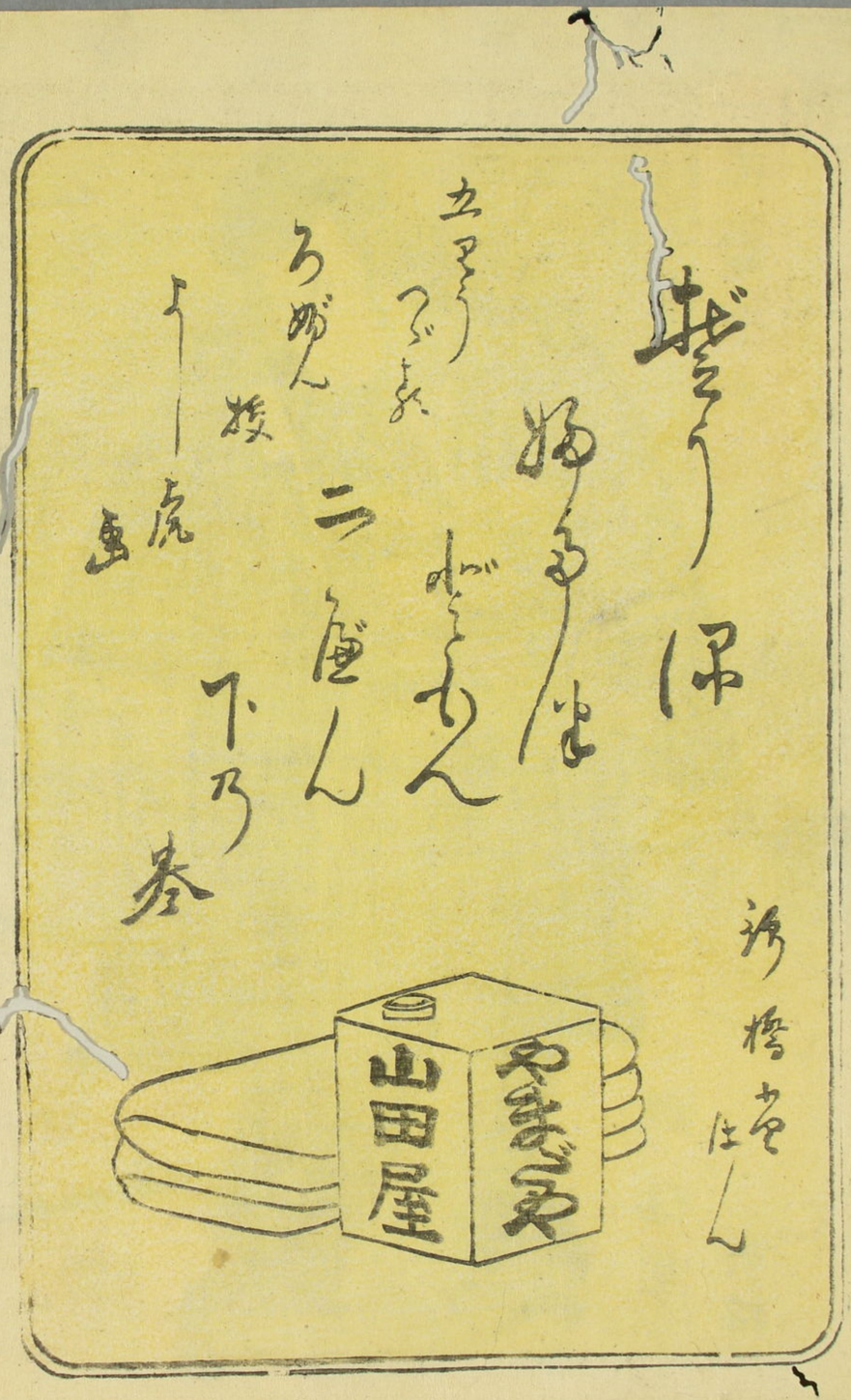
原家武勇鑑　一編　秀賀校合　三編　芳虎画録

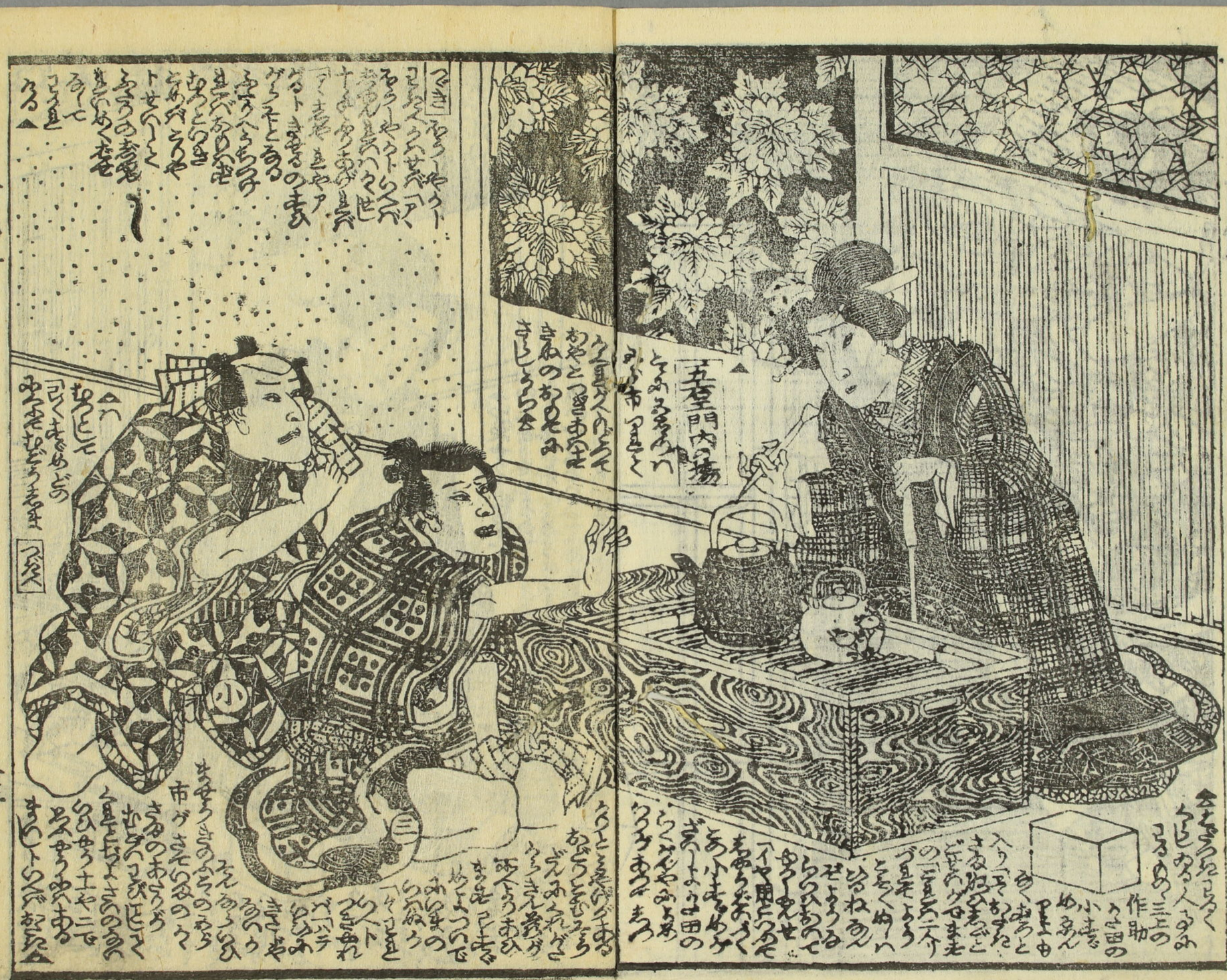
足利絹手染紫　二編　金水作　三編　國貞画

へ13
3774
4
下

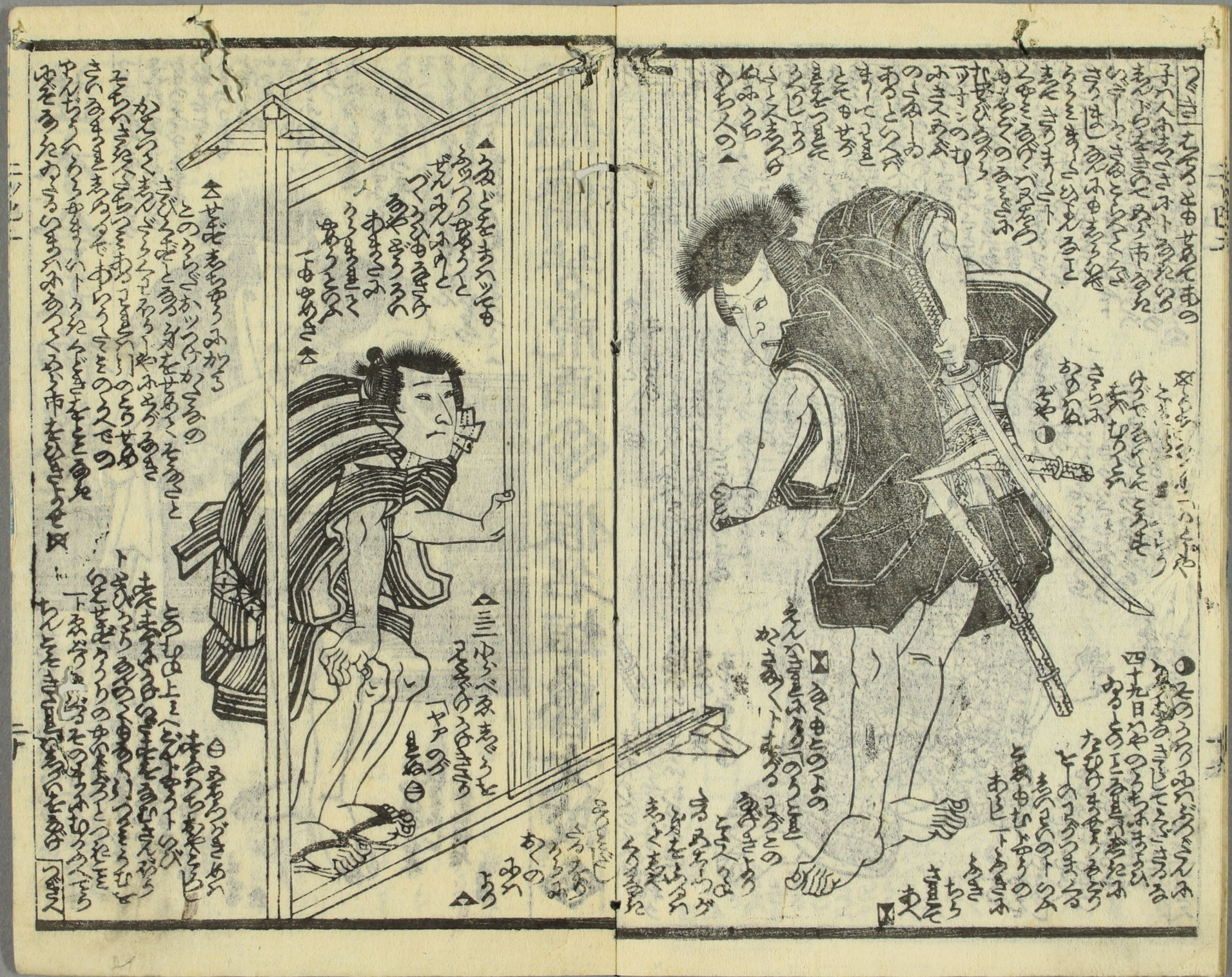


木屋町貳座敷の場




五度門内場
小
三

市



並木舎五柳綴

猛齋芳虎画 ㊐ 假名垣魯文技 ㊐

春閑錄目録

御所櫻梅松錄　六編より鶴亭秀賀作　十一編マデ　楳蛙樓國貞画

八重梅　賢之助　根國の社人　春雪　八重梅と命名

竹雪　若又　若君梅の本御再誕　を誌す

十二編　應賀作　教草女房形氣　十三編　秀賀作

日記　十二尾　芳虎画　十四編　國貞画

花委狐草紙　三編　魯文作　重繪草國噺　四編　魯文作

五編　芳虎画　五編　芳虎画

庄　地本錦繪問屋　錦橋堂　山田屋庄次郎板